

# 令和2年度 学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	81	学校名	茨城県立鬼怒商業高等学校					課程	全日制	学校長名	蒔田 巧					
教頭名	海老澤 恭弘					事務(室)長名	棚井 一博									
教職員数	教諭	37	養護教諭	1	常勤講師	5	非常勤講師	3	実習教諭 実習講師 実習助手	4	事務職員	3	技術職員等	4	計	61
生徒数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計 クラス数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	商業科		44	88	53	101	65	82	/	/	162	271	12			
	情報ビジネス科		12	21	8	32	11	28	/	/	28	81	3			

## 2 目指す学校像

- 保護者や地域の期待と信頼に応え、地域のリーダーとなる「人財」を育成する学校
- 生徒が自ら考え学ぶことをとおして、一人一人の資質・能力や個性を伸ばす学校
- 安心・安全な学校

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	分かる授業づくりを推進し、内容の充実を図るために、学力向上推進委員会を中心に校内研修会・校内授業観察・近隣小中学校の授業視察等を実施した。それらをとおして教員の授業に対する意識が向上し、授業改善が図られている。 さらに、学力定着が十分ではない生徒に対して、放課後や長期休業中を利用した課外授業を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校で学んだことを卒業後の生活にどのように生かすことができるかを生徒に自覚させることにより、主体的な学びを促し、学習意欲の向上を図る。</li> <li>○ 分かる授業づくりを推進することにより、生徒が自己の資質・能力の向上を自覚できるようにする。</li> </ul>
生徒指導	服装や頭髪に関する指導は、減少傾向にあり、各種講演会やスクールカウンセラーの活用等を含めた取り組みにより、落ち着いた生活ができています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 服装頭髪指導は職員の共通認識のもと実施する。</li> <li>○ 交通ルール、マナーに関する意識の高揚を図る。</li> <li>○ スマホ・ケータイ安全教室の全校生徒対象での実施及び、トラブルのないネット利用の啓発。</li> </ul>

進路指導	生徒の進路希望に応じた進路ガイダンス等の行事・面接・課外指導が実施できた。進路決定率は100%を達成できた。インターンシップは、42事業所に94名が参加し、進路に対する意識を高めることができた。求人对応や関係部署との連携などがよくできた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の進路実現のため、教員間の連携をより一層深める。</li> <li>○ 就職に関して、企業見学や選考のあり方がさらにより良くなるための方策を模索する。</li> <li>○ 進路情報の生徒へのより迅速な通知と周知徹底及び生徒個々に応じたよりきめ細やかな指導を図る。</li> </ul>
特別活動	生徒会の活動を中心に学校行事の運営を図ることができた。部活動への入部者の増加は期待通りにはいかなかった。反面、好成績を収めてくれた部活動もあり今後期待したい。 また、各行事が例年と変わったことにより、委員会の活動をうまく活用できない部分があった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 部活動の活性化については、継続的に検討していく。</li> <li>○ 公開文化祭に向けて、今年度の反省を活かし、行事を円滑に進行する。</li> </ul>
働き方改革	授業の指導や部活動の指導に熱心な先生方が多い。また、1年生全員がボランティア活動に参加しており、地域の方々と連携することで地域社会との関わりと社会奉仕の精神を養っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 部活動の指導後に授業の準備や校務に当たるため退勤時間が遅くなる傾向にある。</li> <li>○ ボランティア活動が週休日に実施されることが多いため職員の負担が大きい。</li> </ul>

#### 4 中期的目標

<p>鬼怒商業高校生としての誇りを持ち、地域のリーダーとなって社会に貢献できる「人財」の育成に努め、活気ある校風の確立を目指す。</p> <p>そのために、次の6項目を努力目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒の個人的資質の向上に努める。</li> <li>2 専門的知識の育成に努める。</li> <li>3 保護者や地域の期待と信頼に応える学校づくりに努める。</li> <li>4 生徒一人一人の資質・能力や個性を伸ばす学校づくりに努める。</li> <li>5 安心・安全な学校づくりに努める。</li> <li>6 校務の負担軽減と合理化に務める。</li> </ol>
---

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 生徒の個人的資質の向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 挨拶の奨励，遅刻・欠席の防止等，基本的生活習慣の徹底やコミュニケーション能力の向上</li> <li>○ 授業・部活動・行事など学校教育活動の全体を通して生徒の自己肯定感，達成感や学校帰属意識の向上</li> </ul>
2 専門的知識の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善と，分かる授業の展開による学力の向上</li> <li>○ 商業に関する専門的知識の習得と実践的・体験的な学習の充実</li> </ul>
3 保護者や地域の期待と信頼に応える学校づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 募集人員の定数確保とキャリア教育充実による進路実現100%</li> <li>○ 出前授業やHPを活用した教育活動の効果的な情報発信</li> <li>○ ボランティア活動や地域でのビジネス活動の充実</li> </ul>
4 生徒一人一人の資質・能力や個性を伸ばす学校づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指導方針に関する職員全員の共通理解・実践（同じベクトル），モチベーションの向上</li> <li>○ 組織マネジメントを推進し，学年会，教科会，運営委員会，職員会議での活発な意見交換による学校経営・業務の改善</li> </ul>
5 安心・安全な学校づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめ・体罰・災害等の防止や迅速な対応</li> <li>○ ホームルーム，授業，二者面談や三者面談を活用しての生徒一人一人に対する丁寧な理解</li> </ul>
6 校務の負担軽減と合理化に務める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 負担軽減のための校務の見直し</li> <li>○ 校務の合理化</li> </ul>